

作品解説

富士六斎祈祷念仏

撮影 坂本要 編集・整音 春日聡 38分

上映 2019/09/21 映像民俗の会・奥多摩御岳大会

「映像内容」

山梨県・静岡県・神奈川県の富士山山麓周辺には念仏と修験道儀礼が習合した祈祷念仏が三十カ所以上散在します。山中湖平野の事例は昭和5年雑誌『民俗芸術』に報告され、この念仏が六斎念仏の統括寺院である京都干菜寺（光福寺）の宝暦5年（1755）の村方控牒に載っていることから六斎念仏とされます。

この念仏は「山」とか「くもの巢」といって注連や切紙を天井一面に飾り、最後にこれを切り落とします。

- 1、山梨県南アルプス市吉田 くもの巢祭り 1993/3/8
- 2、山梨県甲府市心経寺 安国寺 大念仏 1994/1/16
- 3、甲府市大里町窪中島 三宝荒神社 寒念仏 1993/1/16～17

一晩中堂に籠って念仏を唱える。翌朝食事をして切紙を切り落としそれをもらって帰る。

- 4、富士河口湖町本栖湖本栖江岸寺 六斎念仏 1992/6/15

巻物には由来と秘事が書かれている。導師が手印を結び九字を切る
僧が大般若経を読み上げる

- 5、神奈川県山北町世附 百万遍 1993/2/15

百万遍として有名だが祈祷六斎系の念仏行事である。山伏姿の導師がつく。
獅子舞・鳥刺し舞等の芸能も入る 最後に切紙を揺らして切り落とす。

- 6、山梨県上野原町無生野 大念仏 1992/8/16

国指定の無形民俗文化財になっているが祈祷六斎系の念仏行事である。
別室での太鼓念仏と祈祷。導師が病人に祓いの儀礼をおこなう
憑き物落としといわれ、布団を蹴飛ばし、飛び越えて狐を祓う

- 7、山梨県身延町下部湯之奥 百万遍 1993/1/23

かつの木（ぬるで）に念仏の回数だけ刻みを入れる。悪魔祓いのため最後に戸を開ける。
切紙を村の入り口にかける。かつの木は当番の家の軒下に差しておく。

- 8、静岡県御殿場市川柳 ドンデンジャン 1992/7/24

太鼓念仏の隣で百万遍の数珠繰りが行われる。途中より踊りが加わる。

- 9、静岡県富士宮市内野・足形 火伏念仏 1992/1/18

火伏の念仏として行われる。最後「融通念仏 南無阿弥陀」の唱えになる

これらは修験道儀礼を取り入れた念仏行事ではありますが、根底は融通念仏であります。融通念仏は百万遍数珠繰りや六斎念仏になっていきます。

「山」と言われる切紙は天竜川中流域に広がる花祭り・霜月神楽の影響があります。

「制作経過・作品解説」

この作品は1992年～94年（平成4年～6年）にかけて撮影したものです。VHSのコンパクトビデオで撮ったもので、テープの保存状態はよかったので、30年前の記録として編集しました。当時は「無生野の大念仏」と「山北町世附の百万遍」のみが知られ、昭和5年の「山中湖村平野の六斎念仏」と一連のものであることは知られていませんでした。その後2004年と2005年に「富士山周辺の祈祷六斎念仏(1)～(2)」として『儀礼文化』No.34・No.36に概要を載せましたが、儀礼分析は『民間念仏信仰の研究』にまとめました。改めて映像を見ると興味深いものがあります。30ヵ所の内、濃密に分布しているのは、山梨県の早川溪谷沿いの村なのですが、映像が無くこの作品には入っていません。富士六斎念仏は融通念仏に修験道儀礼が習合し、寺僧の儀礼でも行われています（映像では禅宗の僧の般若経の転読）。修験の系統については不明ですが御岳昇仙峡の弥勒寺の名が出てきます。儀礼は三遠信の花祭り神楽の影響と思われ、切り紙の飾りと蜂の巣という切紙の袋を切るころは酷似しています。花祭り地区との関連は富士宮市の村山口の行者が花祭り地区に住み着いているということがあります。

小正月や春祈祷の行事して行われるところが多いのですが、盆行事として行っているところもあります。近年若手の角田武頼氏がさらに調査を進め該当箇所が増えていきます。

(参考文献)坂本要『民間念仏信仰の研究』法蔵館 2019